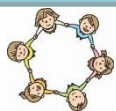


明日に向かって 2022



つながりプランで学び合い



将来を見据えた職業教育の充実を目指し、学部間で連携した学習「つながりプラン」の取り組みも2年目を迎えました。学部間で、児童生徒のねらいや目指す姿を共有し、目的意識をもった学び合いが深まっています。今回は、その取り組みの様子を紹介します。

実践例①：小学部と高等部「買い物体験」



- 高等部1年数学Bグループは、学習してきた「概数を使った計算」を実際の場面で活用するため、小学部の児童をお客さんとして招待し、児童の買い物を概数で計算し、お金の払い方を教えました。ワークシートや机上での学習と違い、児童相手に戸惑う様子も見られましたが、このことが学習の定着を図る上で重要であることが分かりました。小学部5、6年の児童は、楽しみながらお金の勉強ができ、金種が分からないときは高等部生が具体的に教えてくれるなど、計算以外にも買い物スキルやコミュニケーションなど、たくさんの学び合いがありました。



実践例②：中学部と高等部「レッツ！ダンス！」

- 高等部生が、今まで学習してきたダンスの知識を生かして「わくわく show time」で披露する「ツバメダンス」を中学部生に分かりやすく教えながら一緒に踊りました。高等部生が音楽に合わせて「ゴシゴシ」「ギュッギュ」など、動きの言葉を付けてアドバイスしたことで次の動きがスムーズになりました。また、ダンスをするときの心構えや表情の大切さなどを教わったことで中学部生の動きも一段とよくなり、笑顔の多い充実した活動になりました。



実践例③：中学部と小学部「作業学習体験」

- 小学部6年生は、中学部布加工班で布巾づくりを、陶芸班では皿づくり、紙工班では手すき紙づくり、農園芸班では椎茸の収穫を体験しました。作業をする中学部生の姿から、たくさんの人へ販売するためにより製品を作るという意気込みを感じ取ることができ、小学部6年生にとってもいい緊張感の中で、体験を行うことができました。また、中学部生も、自分たちが普段頑張っている「挨拶」や「進んで頑張ること」を態度で示し、今まで学習してきたことを分かりやすく丁寧に説明していました。小学部生は中学部への期待と意欲を、中学部生は自分自身を振り返り新たに目標を見いだした学習になりました。



卒業生の追指導から

○・・・高評価
▲・・・課題

一般就労している卒業生の職場での人間関係、職務の遂行力、余暇の過ごし方など、職場や家庭での様子を知り、職場定着を図るため、好ましい人間関係が成立するように指導しています。冬期に実施した中から職場の方のコメントを紹介します。

- 仕事をいろいろ覚えて丁寧に行っている。今後は仕事の内容も増えると思うので頼りにしている。
 - 真面目でとても丁寧に仕事をする。分からないことは聞いてくれる。
 - 8時間勤務で、時々休日出勤や残業をすることもある。残業は1～2時間程度で、帰りが19時くらいになることもあるが、頑張っている。
 - 社内の検定に受かると毎月手当が入るので、本人のモチベーションにつながっている。
 - 新しい仕事を覚えるだけでなく、素早く正確に作業をこなしている。作業指導ができるようになり、新入社員に作業を教えることもある。
 - 分からないことや困ったことがあるとすぐに、上司に相談してくれる。
-
- ▲目の前の仕事に集中しすぎて、安全面に関しておろそかになることがある。
 - ▲昼休みにスマホを落としてみんなで2時間程度探した。無事に見つけたが、気を付けるように指導した。
 - ▲体調不良時の連絡が遅い。手続き、報告等もあるのでそのことを考えて早めに連絡がほしい。



進路に関するアンケートより

Q 高等部卒業後、心配なことや困ったことが起きたとき、どこにどのような相談をしたらよいのか。

A 卒業した後に相談できる機関は、一般企業に就職した場合と、福祉サービスを利用した場合で異なります。一般就労した場合は、障害者就業・生活支援センターが主な支援機関となります。県南3地区にそれぞれセンターがあり、在学中に登録（任意）することで、卒業後の仕事の定着に向けた相談や、自立した生活を送るための助言や支援をしてくれます。また、仕事上の悩みについては、希望があれば障害者職業センターのジョブコーチに支援をしてもらうこともできます。これは、就職後約3か月間（週1回程度）職場を訪問し、本人と事業所の両者に対して集中的に支援をし、仕事の定着を図っていくものです。その後、フォローアップに移行していく形になります。

福祉サービスを利用した場合は、相談支援事業所が主な支援機関となります。在学中にサービスの利用計画を立案してもらったり、自立生活に向けて一人一人の暮らしの実態を踏まえた支援を行ったりしてくれます。また、サービス利用の変更などの相談にも応じています。

もちろん、学校も相談にのります。相談の内容に応じて、どの機関に相談すればよいかのアドバイスもしています。仕事やサービス利用、生活などで何か気になることやうまくいかないことがあったら、深く悩む前に、まずは相談することが大切です。